

男女共同参画推進連携会議 これまでの議論の概要**【継続議員との意見交換会の概要】**

令和3年 10 月 28 日：アキレス議長、林副議長、井上議員、小安議員、塚越議員

- ・ 早期の目標の設定及び共有が必要
- ・ 議員同士のコミュニケーションをよくとり、チームとして活動することが重要
- ・ 情報交換だけでなく、団体同士が連携できる仕掛けづくりが必要
- ・ 全体会議では、団体が前期で行った活動を踏まえた意見交換をすべき
(全体会議前に参加団体にアンケートを実施し、結果を参加者に共有)

【全体会議の意見概要】

令和3年 11 月9日

(業界における女性の活躍促進チームについて)

- ・ 意思決定層の 9 割が男性という現状では女性の声が反映されない
- ・ 傘下団体に対して拘束力のない団体も多くあり、本部の活動が支部に届かないこともある
- ・ 女性登用がうまくいった事例の共有や、関係会議にもっと男性が参加し現状を知ることが必要
- ・ 経営層やトップだけでなく、企業や組織全体で D&I の重要性を共有することが必要

(若年層に対する性暴力の防止・啓発チームについて)

- ・ ターゲットとする層が日常で目にする SNS の活用等が必要
- ・ 当事者である若者だけでなく、保護者や教員に向けた啓発も必要
- ・ 啓発教材を配布するだけでなく、現場での具体的な使用法を伝えることが重要

(女性の経済的自立について)

- ・ 上層部の意識に変革を起こす必要がある
- ・ 自立できている女性とそうでない女性の二極化が若い頃から進んでいる
- ・ コロナを契機として、新たな取組を行っている団体もある